

第5回第2部会(H29.11.2開催)での主な意見と対応

資料4:前期基本計画(案)について

	区分	主な質疑内容	回答・対応等
1	2-1 農林水産業の振興 現況と課題 農業の振興	黒部米と黒部産米の違いは。農協だけが扱っている米(黒部米)がすべてではない。黒部産米としないと流通させることができない現状がある。	黒部米は地域団体商標であり、一般的には黒部で作った米のことは黒部産米となるが、「黒部米」の呼称は広く認知されているということで、表記を「黒部産米」から「黒部米」に変更させていただいた。 黒部米は商品として流通に乗っており、代表的な認知されている商品として、今回使用している。 「黒部はるか」については、他の特産品に変更します。
2		県内にいろいろとプライベート米はあるが、計画の中でどう表記するかだけを考えれば良いのではないか。県内初の商標であり、インパクトを重視するのならば「黒部米」とすべきであり、一団体を優遇していると思われるなら「黒部産米」とすればよい。	
3		黒部米は一般的に認知された商標であるが、一方で「黒部はるか」は一個人の銘柄であり、適切かという考え方もある。	
4		基本計画に掲載するパンチのある記載としては、「黒部米」が適切なのではないか。	
5	2-1 農林水産業の振興 現況と課題 生産・流通・ 販売対策の促進	「JGAP」については、現在は様々なものがあり、グローバルGAP・アジアGAP、ベーシックなどがある。Jを取って「GAP等」とすべきでないか	黒部米の出荷についてはGAPを行っているが、思いとしては一步踏み込んだ品質のGAPが必要と考えておりJを付けた。 JGAPからGAPに修正します。
6		GAPにはランクがあり、JGAPは国内向けである。輸出を目指すのならばグローバルGAPなどがあり、「GAP等」としておけばよいのではないか。	
7		昔はJGAPで良かったが、今はいくつかあるので、説明書きのところで、GAPの種類も記載すればよいのではないか。	
8	2-1 農林水産業の振興 市民・NPO・事業者等へのメッセージ	「地元産農林水産物の地産地消に努めましょう」のところは地元が選んで消費してくれ、などの具体的な表現とならないのか。また「道の駅開業に向けた野菜等の生産規模拡大」は手段であり、違う表現とならないか。もう少し分かりやすい表現とならないか。	指摘のありましたメッセージについて再度見直します。
9	2-1 農林水産業の振興 2-4 観光の振興	道の駅に関して、農業の直売の話が出ているが、商業や工業、観光に関しては何も無いのか。黒部市の産業(農林水産業以外)に関するPRはしないのか。	道の駅の機能としては、トイレや情報発信以外に、地場産の直売所を設置する、またレストランを中に入れて食事もできる、農家にとっても今後の所得向上に繋がる、賑わいづくりや観光情報発信など、できるだけ黒部ならではの機能を持たせたいと考えている。ただ、何を売るのか、何を入れるのかは目途が立っていない。平成33年度のオープンに向け、施設の建設と有効活用を検討していかなければならない。そのような状況であるため、第2部会では内容の記載は少々難しい。
10		平成33年のオープンか確定であるのに、総合計画に記載がないのはいかがなものか。道の駅に関しては、多くの市民が認知している。	施設については第3部会で記載している。活用については難しいとの答弁をさせていただいている。記載の可否については検討させていただきたい。 ⇒2-1 農林水産業の振興及び2-4 観光の振興において道の駅に関する内容を追記します。